

2025年度 中間決算報告

(2025年4月~2025年9月)

日販グループホールディングス株式会社 2025年11月21日

- 1. 日販グループ事業体制
- 2. 連結経営成績
- 3. 事業別成績
- 4. 計算書類
- 5. 補足資料

1. 日販グループ事業体制



<日販グループ経営理念> <u>人と文化のつなが</u>りを大切にして、すべての人の心に豊かさを届ける。

日販グループホールディングス株式会社 そ 雑貨事業 取次事業 海外事業 不動産事業 エ 小売事業 丁事業 の 他 タメ事業 の事業 ツ事業 シブグ ホン ドテ事サル業 **,―ビス事業**ル事業

2. 連結経営成績

(2025年4月~2025年9月)



減収、経常損失。最終利益は2期連続の黒字決算。

- ●取次事業は減収。日販、カルチュア・エクスペリエンス、日販物流サービス各社において、事業構造改革投資が先行したことも影響し赤字が拡大。
- ●雑貨事業、エンタメ事業、IT事業は好調を維持し、増収増益。
- ●親会社株主に帰属する中間純利益は、不動産売却益等により黒字を確保。

連結 経営成績 売上高: 1,633億円(前年比88.1%、前年差▲221億円)

営業利益 : ▲ 16億円(前年差▲ 16億円)

経常利益 : ▲ | 5億円(前年差 ▲ | 8億円)

親会社株主に帰属する中間純利益: 3億円(前年差+2億円)



	2025年度	2024年度	前年差	前年比
売上高	163,376	185,508	▲22,132	88.1
売上総利益	26,399	31,572	▲ 5,172	83.6
販売費及び一般管理費	28,056	31,596	▲3,539	88.8
営業利益	▲ 1,657	▲24	▲ 1,633	-
経常利益	▲ 1,577	248	▲ 1,826	-
親会社株主に帰属する 中間純利益	336	103	233	325.7



3. 事業別成績

(2025年4月~2025年9月)



		売上高 営業利益 経常利益		- 11/3/13 /0/					
	2025年度	2024年度	前年比	2025年度	2024年度	前年比	2025年度	2024年度	前年比
取次事業	142,511	165,725	86.0	▲2,611	▲ 1,058	-	▲ 2,461	▲797	-
小売事業	22,272	22,768	97.8	▲ 66	▲ 115	-	▲124	▲ 14	-
海外事業	4,105	3,969	103.4	107	145	74.1	113	147	76.4
雑貨事業	1,768	1,607	110.0	67	41	161.1	74	43	171.5
コンテンツ事業	1,768	1,859	95.1	278	283	98.0	284	286	99.1
エンタメ事業	1,233	903	136.5	58	32	177.4	59	32	181.1
IT事業	3,001	2,956	101.5	99	78	125.8	101	79	126.8
不動産事業	1,558	1,576	98.9	619	608	101.7	603	572	105.5
その他の事業	1,142	1,132	100.9	9	25	38.7	67	104	64.4
連結合計	163,376	185,508	88.1	▲ 1,657	▲24	-	▲ 1,577	248	-

(単位・日万円・%					
	2025年度	2024年度	前年差	前年比	
売上高	142,511	165,725	▲ 23,214	86.0	
営業利益	▲ 2,611	▲ 1,058	▲ 1,553	-	
経常利益	▲ 2,461	▲ 797	▲ 1,664	-	

- ●取次事業は減収減益、赤字幅が拡大。
- ●減収の6割以上は、日本出版販売(日販)のCVS 取引終了によるもの。計画通り6月までに移管を完了。
- ●日販、カルチュア・エクスペリエンス(CX、旧MPD)、日販物流サービス(NLS)の3社において、事業構造改革投資が先行し赤字が拡大。



(単位:億円)

	売上高		経常利益	
	実績	前年差	実績	前年差
日販	1,183	A211	A13	
カルチュア・エクスペリエンス 日販物流サービス 出版共同流通 他	572	4 4		▲12
事業合計	1,425	A 232	▲24	A 16



既存領域は縮小市場でも維持できる構造へ、新領域は収益化へ。 CXが投資し、加盟店と共に成長していく。

既存領域



CXでコスト減&ロイヤリティ見直し

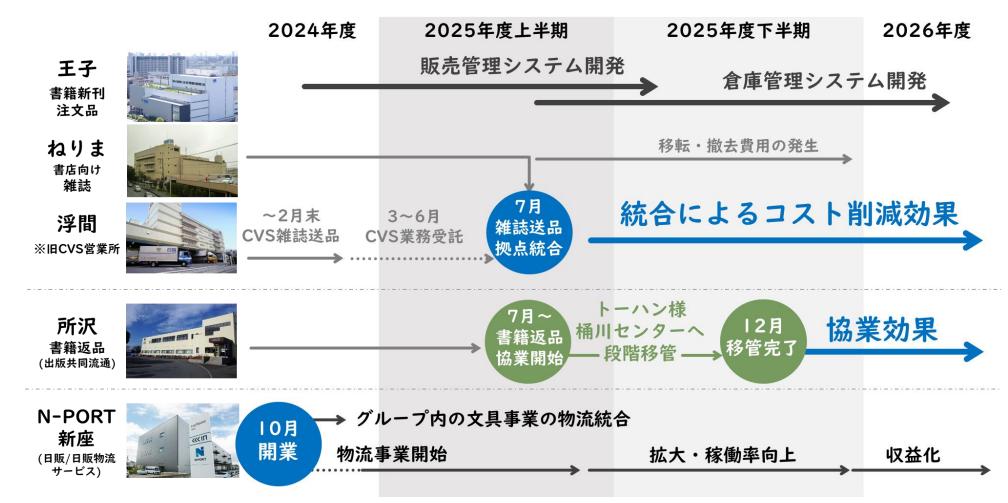
新領域



CXが投資して成功事例をつくる



グループ物流再編は、計画通り進捗。 この上半期も、雑誌送品拠点統合や書籍返品協業が実行に至った。



日販物流サービスは、再編の一環として物流事業の拡大を推進する。 投資·準備期間を終え、今期末にはフル稼働へ。収益獲得フェーズに入る。

2024年度

2025年度上半期

2025年度下半期

2026年度

N-PORT 新座

(日販/日販物流 サービス)



→ グループ内の文具事業の物流統合

物流事業開始

拡大・稼働率向上

収益化

物流事業の稼働率

9月時点

36%

3月時点

100%



	2025年度	2024年度	前年差	前年比
売上高	22,272	22,768	▲ 496	97.8
営業利益	▲ 66	▲ 115	49	-
経常利益	▲ 124	▲ 14	▲109	-

- ●小売事業は減収も、販売費・管理費の削減に努め、 営業利益は改善。政策金利上昇による支払利息 増加の影響で経常利益は減益。
- ●売上構成比の高いBOOKが落ち込み全体では減収も、 文具・トレカなどの他商材、駿河屋などの新業態が 支え、既存店売上は99.7%と前年並みを維持。
- ●駿河屋は、グループ内の店舗が19店舗まで拡大。 FC加盟店も含めた売上前年比は131%と伸び、 BOOK、文具雑貨に次ぐ事業に成長。



(干压・口2/13					
	2025年度	2024年度	前年差	前年比	
売上高	4,105	3,969	135	103.4	
営業利益	107	145	▲37	74.1	
経常利益	113	147	▲ 34	76.4	

※国内企業の海外駐在員向けeコマース。書籍・雑誌・食品・雑貨・医薬品などが対象。 駐在員・ご家族の生活の質を向上させるESG施策として多くの企業様に採用いただいて いる。現在913社2.3万人が利用しており、153カ国で展開。

- (単位:百万円・%) ●海外事業は増収減益。中間決算で過去最高売上高 となるも、基幹システム刷新の投資が先行し減益。
 - ●業界トップシェアを誇るCLUB JAPAN

 ※事業は、 通商政策の影響で売上の3割を占める米国輸送が 一時停止する事態に陥ったが、増収増益を果たし、 全体を牽引。
 - ●日本コンテンツのヨーロッパへの発信を支援する NIPPAN IPS DEUTSCHLAND GmbH (ニッパンアイピーエスドイツ)を9月12日に設立。 台湾、中国に続く欧州現地法人。



(十 <u>位</u> ·日次门)					
	2025年度	2024年度	前年差	前年比	
売上高	1,768	1,607	161	110.0	
営業利益	67	41	25	161.1	
経常利益	74	43	31	171.5	

- (単位:百万円・%) ●雑貨事業は増収増益。卸、直営店、ECすべての 販路で増収。
 - ●直営店は客数・客単価ともに伸長し、売上前年比 は109%。自社ECではビジュアルを強化したデザ インに刷新したことが奏功し、売上前年比122%。
 - ●ダルトンホームは、新規で17軒(前年差+9軒) を受注し総成約数は52軒に。売上前年比120% と全体の増収に寄与。
 - ●昨年の韓国販路開拓に続き、新たにシンガポール でテストマーケティングを開始。



(単位・日万円・					
	2025年度	2024年度	前年差	前年比	
売上高	1,768	I ,85 <i>9</i>	▲ 90	95.1	
営業利益	278	283	▲ 5	98.0	
経常利益	284	286	▲2	99.1	

- (単位:百万円・%) ●コンテンツ事業は減収減益も、利益率は上昇。
 - ●海外縦読みコミックレーベル「Rush!」の落ち込み により減収も、注力してきた少年・青年、少女・ 女性ジャンルが共に前年比180%超と伸び、 売上の柱として成長した。
 - ●人気の異世界ファンタジーレーベル「comic スピラ」他、3レーベルから紙コミックを創刊、 全国の書店で販売開始。上期累計で24銘柄を刊行。



	2025年度	2024年度	前年差	前年比
売上高	1,233	903	329	136.5
営業利益	58	32	25	177.4
経常利益	59	32	26	181.1

…2017年以降、計13回開催(pop-up、オンライン開催除く) 文具女子博

パンのフェス …2016年以降、計13回開催(サテライト開催除く)

- (単位:百万円・%) ●エンタメ事業は増収増益。 中間決算で過去最高売上高・経常利益を更新。
 - ●イベント事業は、上期5件開催し約3億円の増収。 来場者数は、文具女子博で累計70万人を突破、 パンのフェスも累計160万人以上となり、 いずれも一大イベントに成長。
 - ●検定事業では、23件の検定を開催し、売上・利益 がそれぞれ拡大。昨年、新規主催検定として立ち 上げた「恐竜学検定」では、2年続けて5千人以上 が受験するなど好調。



(千匹・ロバ门・/					
	2025年度	2024年度	前年差	前年比	
売上高	3,001	2,956	44	101.5	
営業利益	99	78	20	125.8	
経常利益	101	79	21	126.8	

- (単位:百万円·%) ●IT事業は、グループ外取引の伸長により、 増収増益。
 - ●出版社向けクラウド型販売管理システム 「CONTEO(コンテオ)」は、新たにIO件の 新規導入を獲得し、累計では72社に導入。
 - ●昆虫や恐竜をテーマにした子ども向けのデジタル アトラクションイベントを、大型ショッピング モールを中心に11件開催(対前年6件増)。



	2025年度	2024年度	前年差	前年比	
売上高	I,558	1,576	17	98.9	
営業利益	619	608	10	101.7	
経常利益	603	572	31	105.5	

- ●不動産事業は減収増益。堅調な利益創出で変わらずグループを下支え。
- ●新お茶の水ビルディングを含むオフィスビル 4棟(堂島・名古屋・仙台)は、2025年9月末 時点ですべて満床。
- ●取次事業における物流拠点再編を受け、 旧ねりま流通センター用地を9月末に売却。 固定資産売却益21億円。



(十位・日次1)					
	2025年度	2024年度	前年差	前年比	
売上高	1,142	1,132	10	100.9	
営業利益	9	25	▲ 16	38.7	
経常利益	67	104	▲37	64.4	

- ●ASHIKARIが運営する「箱根本箱」は、休館日 影響で減収も、稼働日では客数・客単価ともに上昇。 インバウンドの売上が好調で、宿泊客の20%を 占める。
- ●日本緑化企画は、基盤となるレンタル事業の 新規案件獲得数が前年比144%と伸長。

4. 計算書類

(2025年4月~2025年9月)



連結計算書類(貸借対照表)

(単位:百万円)

資産の部				負債の部			
	2025年度	2024年度	前年差異		2025年度	2024年度 前年	前年差異
科目	金 額	金額	削牛左共	科 目	金額	金額	削平左共
流動資産	130,449	152,544	▲22,094	流動負債	137,131	161,606	▲24,475
現金及び預金	12,625	24,459	▲ 11,833	支払手形及び買掛金	81,421	95,493	▲ 14,072
受取手形、売掛金及び契約資産	60,676	60,579	97	電子記録債務	5,423	7,142	▲ 1,718
有 価 証 券	2,223	4,000	▲ 1,776	短期借入金	12,660	14,999	▲ 2,339
棚 卸 資 産 返 品 資 産	30,029	31,924	▲ 1,895			355	678
1	20,331	25,574	▲ 5,243		·	28,639	▲ 6,482
その他の流動資産	5,063	6,558	▲ 1,494		· ·	1,198	▲ 96
貸倒引当金	▲ 499	▲ 552	52	その他の流動負債	13,332	13,777	▲ 444
				固定負債	20,942	23,031	▲ 2,088
固定資産	81,554	85,926	▲ 4,372	長期借入金	1,360	1,707	▲ 347
有 形 固 定 資 産	52,433	56,963	▲4,529	退職給付に係る負債	4,330	4,374	▲ 44
無形固定資産	5,515	3,941	1,574	その他の固定負債	15,252	16,949	▲ 1,696
投資その他の資産	23,705	25,131	▲ 1,426	負債合計	158,073	184,638	▲26,564
貸 倒 引 当 金	▲ 100	▲ 109	8	経資産の部			
				株主資本	36,446	34,247	2,198
				資 本 金	3,000	3,000	0
				利 益 剰 余 金	35,329	33,128	2,201
				自己株式	▲ 1,882	▲ 1,880	▲ 2
				その他包括利益累計額	12,304	14,118	▲ 1,813
				非支配株主持分	5,178	5,466	▲ 287
				純資産合計	53,930	53,833	96
資産合計	212,004	238,471	▲26,467	負債及び純資産合計	212,004	238,471	▲ 26,467



					· · · · ·	
	2025	2025年度		2024年度		前年差異
科 目	金額	構成比	金額	構 成 比	前年比	nitz x
売上高合言	163,376	100.0	185,508	100.0	88.1	▲ 22,132
売 上 高	166,289		188,518		88.2	▲ 22,228
売 上 割 房	2,913		3,009		96.8	▲ 96
売 上 原 何		83.8	153,935	83.0	89.0	▲16,959
売 上 総 利 益	26,399	16.2	31,572	17.0	83.6	▲ 5,172
販売費及び一般管理費	28,056	17.2	31,596	17.0	88.8	▲3,539
販 売 費	6,340		9,471		66.9	▲ 3,130
一般管理費			22,125		98.2	▲ 409
営 業 利 益		▲1.0	▲ 24	▲0.0	-	▲ 1,633
営 業 外 収 益		0.2	638	0.3	48.9	▲ 326
受 取 利 息	39		51		75.8	▲12
その他の収益	272		586		46.5	▲ 313
営業外費用	232	0.1	365	0.2	63.6	▲ 133
支 払 利 息	116		87		132.6	28
その他の費用	116		277		41.8	▲ 161
経 常 利 益		▲1.0	248	0.1	-	▲ 1,826
特 別 利 益	2,145	1.3	408	0.2	-	1,736
特別 損 失	320	0.2	511	0.3	62.7	▲190
税金等調整前中間純利益	246	0.2	145	0.1	169.2	100
法人税、住民税及び事業税	954		440		216.8	514
法人税等調整額			▲ 487		_	▲ 230
中 間 純 利 益	10	0.0	193	0.1	5.5	▲ 182
非支配株主に帰属する中間純利益	▲325	▲0.2	90	0.0	-	▲ 415
親会社株主に帰属する中間純利益	336	0.2	103	0.1	325.7	233



5. 補足資料



連結子会社一覧(2025年9月30日時点)

株式会社いまじん白揚

株式会社駿河屋BASE

事業	会社名	事業	会社名	
	日本出版販売株式会社	海外事業	日販アイ・ピー・エス株式会社	
	カルチュア・エクスペリエンス株式会社	A11 415 114	株式会社ダルトン	
	株式会社MPDパートナーズ	雑貨事業	ダルトンホーム・ディベロップメント株式会社	
	出版共同流通株式会社		株式会社ファンギルド	
取次事業	日販物流サービス株式会社	コンテンツ事業	株式会社FGパブリッシング	
収 次争未	中三エス・ティ株式会社	エンタメ事業	日販セグモ株式会社	
	株式会社B・Story	IT事業	日販テクシード株式会社	
	株式会社NKメディアリテイリング		日販ビジネスパートナーズ株式会社	
	株式会社ひらく	その他の事業	株式会社ASHIKARI	
	株式会社学研ステイフル		日本緑化企画株式会社	
	NIC株式会社			
	NICリテールズ株式会社(子会社 I O社を含む))+/+ 7 A 11 0 C 11		
小売事業	NICパートナーズ株式会社	連結子会社35社		



連結主要経営指標の推移(中間)

(単位:百万円・人・社)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
売上高	246,399	219,813	204,899	185,508	163,376
営業利益	1,645	▲ 104	▲ 1,388	▲ 24	▲ 1,657
経常利益	1,969	15	▲ 1,267	248	▲ 1,577
親会社株主に帰属する 中間純利益	982	1,178	▲ 1,150	103	336
純資産額	59,002	59,919	57,147	53,833	53,930
総資産額	277,998	266,251	256,451	238,471	212,004
従業員数 (他 年平均臨時雇用者数)	2,648 (5,318)	2,470 (5,177)	2,410 (4,921)	2,653 (4,593)	2,500 (4,627)
連結対象子会社数	35	36	38	35	35



非財務情報開示

「NIPPAN GROUP ESG Report 2025」を2025年7月に発行し、非財務情報を開示しています。

※詳細は、<u>日販グループホールディングスホームページのESGページ</u>および「<u>日販グループ ESGレポート</u> 2025」をご参照ください。



【本件に関するお問い合わせ先】

日販グループホールディングス株式会社 社長室広報課(報道窓口)

E-mail: press@nippan.co.jp

TEL: 03-3233-3829

※取材・報道に関するお問い合わせは、上記窓口までお願いいたします。

